



TOTO水環境基金

第10回 助成団体活動報告

(2015年4月～2016年3月)



TOTO水環境基金とは

TOTOグループは、水まわりを中心とした、豊かで快適な生活文化を創造することで、社会の発展に貢献する企業を目指しています。未来に向けて、大切な水資源を有効に活用して社会が持続的に発展していくためには、節水技術の追求というTOTOの果たすべき役割とともに、NPOをはじめとする市民活動の果たす役割も欠かせません。そこでよりよい社会を築き支え、社会と共生することを目的に、2005年度にTOTO水環境基金を設立し、市民の取り組みを支援することにしました。

現在では、助成金による経済的支援だけでなく、TOTOグループ社員の活動参加や情報交換などを通じて、年々活動の輪が広がっています。

第10回募集概要

第10回TOTO水環境基金は下記のとおり募集・選考を行いました。

助成内容について

助成期間 2014年4月1日～2015年3月31日までの1年間

助成金額 総額1,430万円(22団体)

過去の助成結果
第1回：総額1,090万円(12団体) 第4回：総額1,200万円(16団体) 第7回：総額 980万円(16団体)
第2回：総額1,560万円(12団体) 第5回：総額1,102万円(18団体) 第8回：総額1,007万円(20団体)
第3回：総額8,051万円(29団体) 第6回：総額 751万円(10団体) 第9回：総額1,300万円(25団体)
※第3回はTOTO創立90周年記念事業として助成額を増額、複数年(3年以内)を助成。

選考について

応募資格 (1) 営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)

(2) 目的や内容が、特定の宗教や政治などに偏っていない団体

(3) 暴力団、暴力団員、暴力団関係者、総会屋その他の反社会的勢力と交際、関係等がない団体

選考方法 下記の基準にもとづいて選考を行いました。

〈国内〉

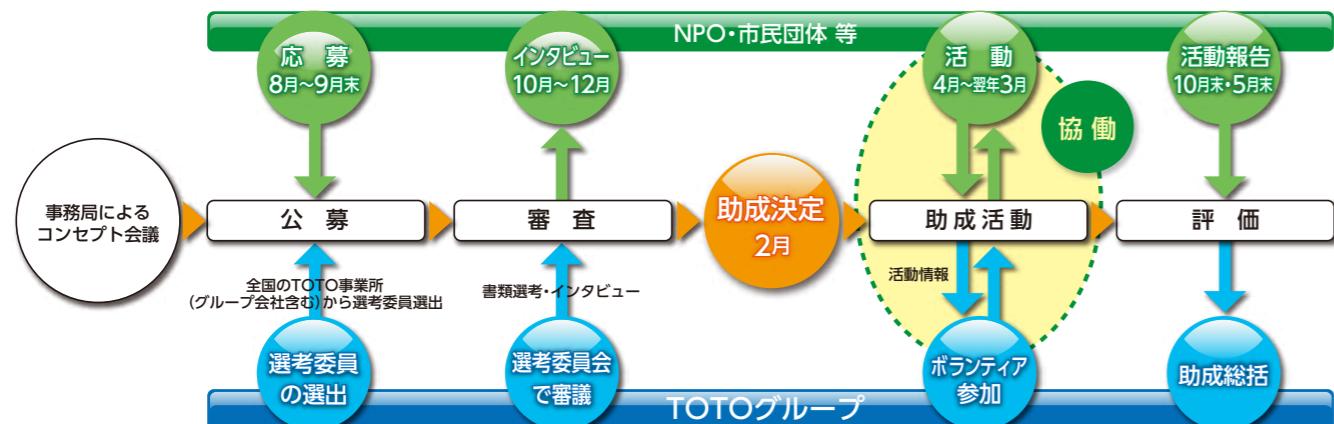
- ① 水環境や生物多様性の保全・再生、CO₂削減など地球環境保全に寄与するか。
- ② 目的や内容が明確で、プロジェクトの必要性・重要性・実現性が高いか。
- ③ 地域に住む人びとが活動の中心になっており、地域のくらしに根ざした活動となりえるか(継続性が期待できるか)。また、団体の活動に一般の方やTOTOグループ社員が参加し、協働で活動を進めることができるとか。

〈海外〉

- ① 活動地域の課題解決に効果的なプロジェクトか。
- ② 目的や内容が明確で、プロジェクトの必要性・重要性・実現性が高いか。
- ③ 地域のくらしに根ざした活動となりえるか(継続性が期待できるか)。

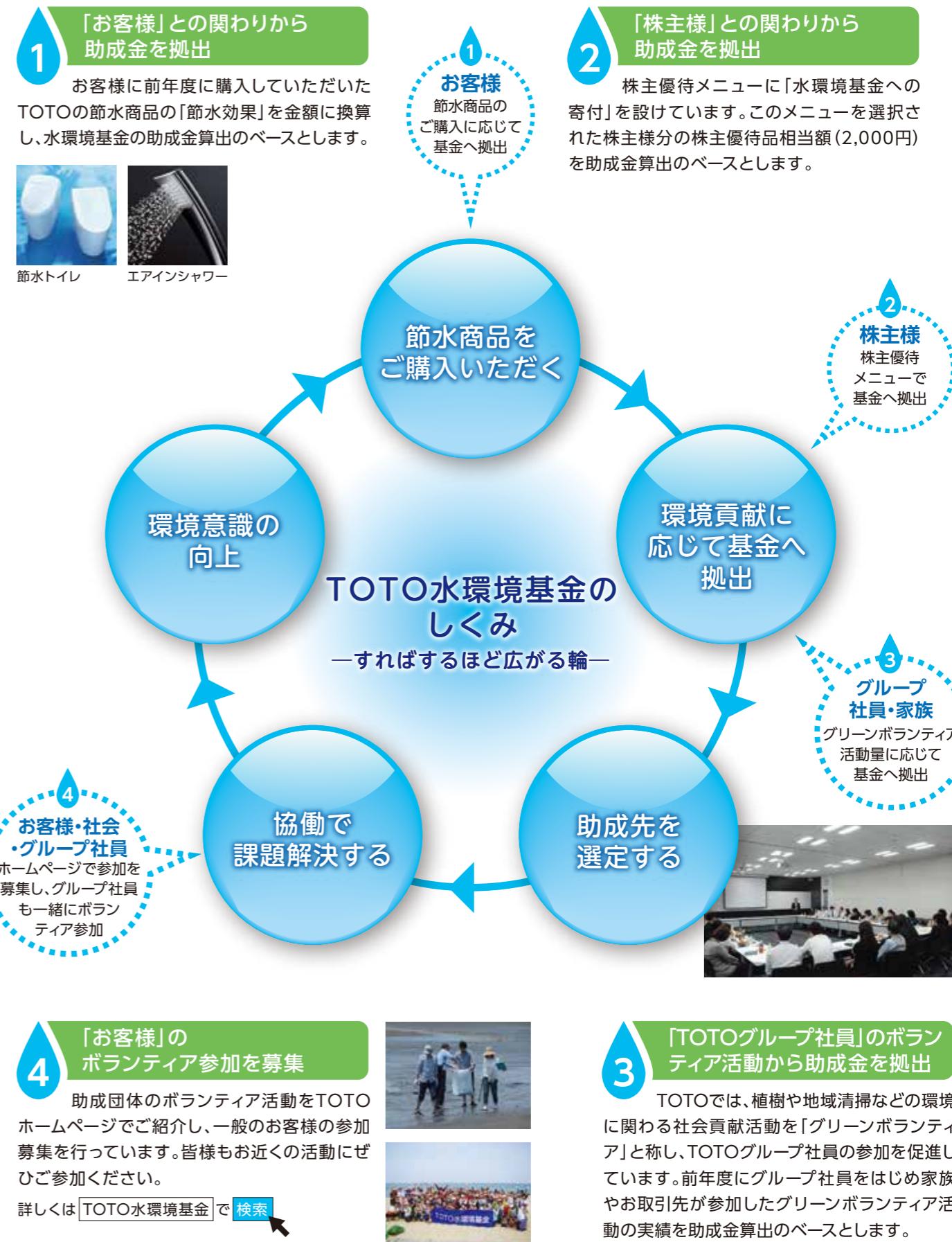
公募から助成までの流れ

公募から助成までのすべての段階にTOTOグループ社員が参画しており、協働による環境貢献活動の発展を目指しています。



環境貢献のサイクル

社会全体との協働を通じた環境貢献を目指して、ステークホルダーの皆様の環境貢献への関わりが増すほど、助成金が増えていく仕組みを展開しています。



第10回助成活動の成果

助成金 総額 **1,430**万円

運営経費 **599**万円

■ 助成によって実施した活動

助成団体 **22**団体

活動回数
403回

活動にご参加いただいた人数

15,429人

うちTOTOグループ
参加人数 **1,704**人

山・森林など

自然を守るために植えた植物 **50**本

整備した山林 **2.0**ha

再利用した木材 **38**t

湖・川・水路など

自然を守るために植えた植物 **1,936**本

駆除した外来種 植物 **1.6**t

生物 **28**匹

放流した生き物 **60**匹

海外

設置した給水設備 **19**基 野外排泄ゼロ **9**コミュニティ

井戸設置・修理、トイレ修理 **24**箇所

水・衛生委員会立ち上げ **52**グループ

自然を守るために植えた植物 **5,095**本

導入した浄水器 **500**個 受益者 **16,896**人

海

自然を守るために植えた植物 **3,020**本

海藻 **70**本

整備した面積 **6.75**ha

魚礁のために設置した石 **26**個

ゴミ

水環境や景観保全のために
収集したゴミの量

124.679t

■ 人や地域へもたらした変化

地域課題の改善や解決のために
貢献できましたか？

環境に配慮した行動をするべきだ
という意識の変化を、より多くの
人々に与えられたと思いますか？

別の環境課題を見つけた場合に、
新たに取り組んでみることを考え
てもいいと思いますか？

TOTOは地域の環境活動に貢献
していると思いますか？



助成した22団体へのアンケート調査結果より

第1回～第10回の累計

助成団体:180団体 助成金額:1億8,471万円

活動回数:1,487回(第7回以降) 参加人数:65,095人(第7回以降)

第10回 助成団体一覧

No.	プロジェクト名	団体名	主な活動地域	ページ
1	子どもから大人まで体験・なっとく広瀬川プロジェクト	カワラバン	宮城県仙台市	5
2	自然に還る いのちの循環プロジェクト2015～里山の水と緑といのちのつながり	NPO環～WA	茨城県東茨城郡	6
3	千葉県九十九里海岸林の機能強化を図る補植と下草刈り	NPO法人 森のライフスタイル研究所	千葉県山武市	7
4	ホタルや水辺の生き物が住む環境づくりを皆の力で！	八千代市ほたるの里づくり実行委員会	千葉県八千代市	8
5	白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり	白子川源流・水辺の会	東京都練馬区	9
6	西なぎさ発・東京里海エイド	DEXTE-K	東京都江戸川区	10
7	市民活動による生物多様性の豊かな海の森づくり	一般社団法人 海っ子の森	三重県北牟婁郡	11
8	大富山湿地帯の涵養と保護及び美佐野街道と伊野川とのふれあい場所の整備	大富山を愛する会	岐阜県土岐市	12
9	水と緑の輝く里山プロジェクト	金山里山の会	富山県射水市	13
10	家棟川の生態回廊の再生 —ビワマスが遡上する川に—	NPO法人 家棟川流域観光船	滋賀県野洲市	14
11	海と陸とのつながりを味わおう！	NPO法人 環境教育技術振興会	大阪府阪南市	15
12	「外堀川クリーン作戦」～まちづくりコミュニティ清掃～	NPO法人 アンビシャスコーポレーション	兵庫県姫路市	16
13	こども森林ボランティア養成講座「もりメイトキッズ」	NPO法人 もりメイト倶楽部Hiroshima	広島県大竹市	17
14	水と緑の美化プロジェクト	東朽網校区まちづくり協議会	福岡県北九州市	18
15	むなかたYの字作戦	NPO法人 改革プロジェクト	福岡県宗像市	19
16	よこしろ清流キャンペーン～後世へ伝える環境と文化～	横代校区まちづくり協議会	福岡県北九州市	20
17	いのちあふれる大新田海岸再生プロジェクト	NPO法人 水辺に遊ぶ会	大分県中津市	21
18	冷川の清掃活動	冷川のホタルと親しむ会	大分県別府市	22
19	第4回 氷川ダム湖かき殻まつりと氷川ダム「ホタルの郷」づくり	次世代のためにがんばろ会	熊本県八代市	23
20	ネパールの水衛生事情を日本の次世代に伝える事業	NPO法人 ウォーターエイドジャパン	ネパール サンクワサバ郡	24
21	カンボジア農村地域の植樹活動及び環境教育	World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia	カンボジア バッタンバン州	25
22	モザンビーク・クイサンガ地区3村への浄水器の配布と公衆衛生指導	モザンビークのいのちをつなぐ会	モザンビーク共和国 カーボデルガド州	26

Entry 1

子どもから大人まで体験・なつとく広瀬川プロジェクト

団体名

カワラバン

主な活動地域

宮城県仙台市

代表者

菅原 正徳

宮城県



活動実績

参加人数



のべ **298**人
うちTOTO
グループ参加 **6**人

活動回数

**10**回

集めたゴミの量



45リットル袋
3袋



まちあるき(川で生き物採取)

川トレッキング



エサ環境と魚類の適応

広瀬川の環境とゴミ

Entry 2

自然に還るいのちの循環 プロジェクト2015

団体名

NPO環～WA

主な活動地域

茨城県東茨城郡

代表者

平澤 文子

茨城県



活動報告

水環境や森林の保全活動を通して、自然の調和の中で生かされている人間を含む全ての生き物のいのちのつながりに気づき、持続可能な循環型の社会づくりに向けた行動を促すことを目的に、里山や休耕地での活動を継続的に実施しました。ラムサール条約登録地「涸沼」では勉強会や生きもの調査、ごみ拾い活動を企画、流域沿いの環境保全や人間活動と水環境の関連を考え取り組みも行いました。整備する里山を4haに拡大。同時に、間伐材、竹、落ち葉等の自然資源を利用した循環型農業を開始したほか、バイオマスエネルギーを日常生活に取り入れる様々なワークショップや県内外での普及啓発を行いました。県立高校での森林整備実習を月次で、その他、大学院生向けの実践演習、小学生向けの里山体験学習など、体験型環境教育プログラムを展開。被災地での復旧支援やチャリティイベントも実施しました。



里山保全体験活動

里山整備



常総市被災地支援

小学校向け環境教育

活動実績

参加人数



のべ **652**人
うちTOTO
グループ参加 **47**人

活動回数

**34**回

集めたゴミの量



45リットル袋
8袋
整備面積
竹駆除 **1.3ha**
竹利用約 **15t**
間伐 **5m** 間伐材利用 **5m**

Entry 3

千葉県九十九里海岸林の機能強化を図る補植と下草刈り

団体名	NPO法人 森のライフスタイル研究所
主な活動地域	千葉県山武市
代表者	竹垣 英信



活動実績

参加人数



のべ **502**人
うちTOTO
グループ参加 **59**人

活動回数

**11**回

植樹

3,000本

下草刈りの面積

**2.6ha**

伐採と地拵えの面積

**0.3ha**

植樹面積

**0.45ha**

Entry 4

ホタルや水辺の生き物が住む環境づくりを皆の力で！

団体名	八千代市ほたるの里づくり実行委員会
主な活動地域	千葉県八千代市
代表者	金室 彰



活動報告

ビオトープ18年目のほたるの里は、木々が茂り景観的な環境ができつつあります。かつて生息していたヘイケボタルの再生と多様な生き物の保全を、市民・事業者・行政とのグラウンドワーク方式で活動しており、2015年度は、月1回の整備作業や観察会、ザリガニ駆除、田植え、稻刈り、先進地視察などを実施しました。整備作業には、TOTOグループ社員の支援のもと実施しました。成果として、3年ぶりに約60匹の幼虫を6月に放流した結果、7月下旬の夜の観察会で25匹ほどの飛翔が見られ、2015年12月に環境省が「生物多様性保全上重要な里地・里山」に八千代市ほたるの里を選定しました。



湿地で田植え



里内の草刈り



トンボ池の汚泥回収



環境整備

活動実績

参加人数



のべ **361**人
うちTOTO
グループ参加 **70**人

活動回数

**14**回

駆除したザリガニ

**28**匹

放流したヘイケボタル

**60**匹

Entry 5

白子川源流の水辺環境保全 と湧水の町づくり

団体名

白子川源流・水辺の会

主な活動地域

東京都練馬区

代表者

菅沢 博

東京都



活動実績

参加人数

のべ **206**人
うちTOTO
グループ参加 **54**人

活動回数

**12**回

集めたゴミの量

45リットル袋
65袋除去したドロ
アオミドロ
バケツ**200**杯
川底のドロ
バケツ**150**杯

Entry 6

東京里海エイド 西なぎさ発・

団体名

DEXTE-K

主な活動地域

東京都江戸川区

代表者

橋爪 慶介

東京都



小学校自然環境教育

めだか放流



第15回 白子川源流まつり

定期的川掃除

活動報告

葛西海浜公園西なぎさにおいて、公園を利用する人たちに心地よく使用していただくとともに、西なぎさに生息する多様な生物・鳥類の漂流ゴミによる被害を最小限にとどめることを目的として、春から秋にかけて西なぎさに漂着するゴミの清掃活動を実施しました。

2015年度は、のべ8日間活動を実施することができ、参加した人数は315名となりました。

収集した漂着ごみの総数は、45リットルゴミ袋×254袋および、その他にも粗大ごみや注射器、使い捨てライターなどを代表とする危険ごみも複数収集することができました。

都心に近い汽水域の水辺で、活動をしながら様々な種類の生物を観察できる一方で、漂着ごみが数多くあることを実感でき、都市でのライフスタイルを再考するきっかけづくりとなっている点が本活動の特徴であり、その様子が参加者の感想から読み取ることができました。



西なぎさクリーンアップ

漂着ごみ



生物の観察

収集した漂着ごみ

活動実績

参加人数

のべ **315**人
うちTOTO
グループ参加 **156**人

活動回数

**9**回

集めたゴミの量

45リットル袋
254袋

Entry 7

市民活動による生物多様性 の豊かな海の森づくり

団体名

一般社団法人
海つ子の森

主な活動地域

三重県北牟婁郡

代表者

山下 達己



活動実績

参加人数

のべ 193人
うちTOTO
グループ参加 77人

活動回数



13回

集めたゴミの量

45リットル袋
14袋海の植樹
アラメ・カジメ
70本

尾鷲海岸清掃活動

神宮の森保全現地学習活動



石詰の礁による藻場礁の造成活動

紀北町石詰礁活動

Entry 8

大富山湿地帯の涵養と 保護及び美佐野街道と 伊野川とのふれあい場所の整備

団体名

大富山を愛する会

主な活動地域

岐阜県土岐市

代表者

庭野 雅人



活動報告

生活の場の近くにある大富山には、貴重な植物が生育する湿地や古き時代に人々が往来した美佐野街道があります。この大富山を守り育て、地域の多くの人々の憩いの場所となるよう整備管理すること目標に活動しつつ、希少樹種である「シデコブシ」の保護にも尽力しました。

2015年度は、他の樹木が覆いかぶさり元気のなかった湿地帯のシデコブシを再生するため、雑木の伐採を大規模に実施。伐採後は、風通しや日当たりが改善され、この4月には昨年以上の花を付けるまでに回復しました。その他、定例となった街道や湿地を維持するための草刈りを実施したり、桜の木の植林や「美佐野街道を歩こう」会を実施、大富山の魅力の情報発信にも努めました。



美佐野街道を歩こう会

伐採作業



草刈り作業

大富山植樹

活動実績

参加人数

のべ 308人
うちTOTO
グループ参加 51人

活動回数



8回

植樹

桜 50本
整備面積
雑木伐採
20m³

Entry 9

里山と緑の輝く 里山プロジェクト

団体名

金山里山の会

主な活動地域

富山県射水市

代表者

前川 修

富山県



活動実績

参加人数



のべ **486**人
うちTOTO
グループ参加 **36**人

活動回数

**40**回

整備面積



里山涵養林
7,000m²
林道
1,250m

伐採木の再利用

**350**本

Entry 10

家棟川の生態回廊の再生 —ビワマスが遡上する川に—

団体名

NPO法人
家棟川流域観光船

主な活動地域

滋賀県野洲市

代表者

北出 肇

滋賀県



活動報告

野洲市の8割の川が合流して琵琶湖に注ぐ家棟川で、市民・子どもに参加を呼びかけ、水源の山、森、川、田畠、びわ湖を一体とした環境保全活動を実施しました。

2015年8月に、家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクトを結成。ビワマスの産卵床を4ヶ所作成し、ビワマスがそこで産卵しました。また、3月には稚魚が確認できました。稚魚の確認は調査を始めてから最初のことであり大きな成果を生み出すことができました。

また家棟川の写真集を作り、市内すべての学校やコミュニティセンターに配布し、要請があれば講演に応えられる体制をつくりました。

家棟川の生態調査は継続して実施し、川やびわ湖のゴミ拾いを精力的に行うことで、屋形舟での遊覧ができる環境を維持しています。2015年度の乗船者は499人でした。

水源の山での植樹を行い、山からの地下水がビワマスに良い効果を与えています。



田植え体験



生き物観察会



家棟川清掃活動



家棟川ビワマス産卵場作り 産卵床造成

活動実績

参加人数



のべ **1,836**人
うちTOTO
グループ参加 **77**人

活動回数

**21**回

植樹

コナラ
270本
ヨシ苗
1,500ポット
60マット

集めたゴミの量

**450kg**

Entry 11

海と陸とのつながりを味わおう！

団体名

NPO法人

環境教育技術振興会

主な活動地域

大阪府阪南市

代表者

関藤 博史

大阪府

阪南市



活動実績

参加人数



のべ **1,099**人
うちTOTO
グループ参加 **147**人

活動回数

**6回**

タコ捕り体験

わらじ作り



ノリ漉き体験

田んぼの生き物観察

Entry 12

「外堀川クリーン作戦」 まちづくりコミュニティ清掃

団体名

NPO法人 アンビシャス
コーポレーション

主な活動地域

兵庫県姫路市

代表者

山本 哲司

兵庫県

姫路市



活動報告

姫路城本格築城の一環として歴史のある「外堀川」。播磨の初代藩主となった池田輝政（異名を三左衛門）は、播磨灘から姫路城外濠までを運河を開削し、軍船を入れるとともに舟運を興そうとしました。しかし播磨灘と外濠とでは水位差が10m以上あり、城付近ではかなり掘り下げないと運河として機能しないことや、輝政が1613年（慶長18年）に死去したことなどから、計画は放棄され、流路のみが残りました。戦後に入ると水質が悪化しドブ川となり、このため1962年に都市計画で「運河公園」を立案、汚泥の除去などに努め、1974年には「二級河川外堀川」に指定されましたが、現在は環境が悪化し、市民や行政の悩みの種となっています。その放置された課題に切り込み、本来の風情ある川を取り戻すべく活動をしています。



河川環境保全活動

外堀川清掃活動



ボートでごみ拾い

クリーン作戦

活動実績

参加人数



のべ **218**人
うちTOTO
グループ参加 **55**人

活動回数



7回
(+啓発パトロール8回)

集めたゴミの量



45リットル袋
440袋

Entry 13

「もりメイトキッズ」 こども森林ボランティア養成講座

団体名

NPO法人

もりメイト俱楽部Hiroshima

主な活動地域

広島県大竹市

代表者

見勢井 誠

広島県



活動報告

森づくり活動体験を通して豊かな心と森を育していくために、手つかずで荒れた森を環境教育の場として活用し、2015年度「もりの達人 木こりになろう！」をテーマに、「まきやかまどで森のクッキング」として企画立案、年4回開催しました。また、スタッフのスキルアップのための講習会と見学会を年2回実施、多くの方に参加していただきました。スタッフとして大学生が毎回8～10人程度参加し、子供たちに優しく接してくれるので大変好評でした。しかし環境教育研究部会のプランニング会議の参加者が少ないと問題が残っています。

この松ヶ原フィールドの3か所の中に、まだ手つかずの人工林があり、今後は森林ボランティアの本来の活動である、間伐・枝打ちなどを多く組み入れていかなければならぬと考えています。



杉・檜の間伐

森林整備



森のかまどの火入れ

第4回もりメイトキッズ講座

活動実績

参加人数



のべ **250**人
うちTOTO
グループ参加 **11**人

活動回数

**19**回

Entry 14

水と緑の美化プロジェクト

団体名

東朽網校区

まちづくり協議会

主な活動地域

福岡県北九州市

代表者

柳田 克喜



活動報告

東朽網は、水源地である水晶山、そこから湧き出る豊富な水をたたえ曾根平野へ運ぶ貯水池である昭和池、住民の生活環境を流れる朽網川、そして豊かな養分を海へと送り出す河口から干潟へと、それぞれが地域の宝ともいえる一連の水環境を有した稀な地域です。東朽網の豊かな自然を通して環境の変遷や地域の未来を住民全体で考えていくうえで、大人から子どもまで一緒に学ぶ体験型学習（朽網川や河口清掃、カブトガニ産卵観察会、水晶山清掃登山、昭和池清掃と植樹など）を実施しました。活動の目的は、水環境を次世代へ守り繋ぎ、地域の宝の大切さを共感できる環境意識の高い人づくりを行っていくことです。毎回、TOTOグループ社員の皆様や一般ボランティアの参加をいただいて、大規模で効果的な活動に繋げることができました。今後も、ふるさと東朽網を愛する心を育み、継続して水環境を守り繋げる活動に取り組みます。



朽網川河口の漂着海藻類、漂着ごみの除去 昭和池クリーン作戦



水晶山清掃登山 カブトガニの産卵観察会

活動実績

参加人数



のべ **665**人
うちTOTO
グループ参加 **144**人

活動回数

**32**回

集めたゴミの量



45リットル袋
228袋
植樹
紫陽花 **95**株
陽光桜 **11**本

Entry 15

むなかたYの字作戦

活動報告

宗像の自然環境は美しく雄大ですが、近年海岸や河川の環境は著しく低下しています。世界遺産候補にも選ばれた宗像が誇る大島、地島、釣川の美しい自然環境を後世に残していくことの必要性を感じたため、本プロジェクトを実施しました。1年間のプロジェクトで計7回の活動を行い、1045キロの漂着ごみ、廃棄されたごみ、約300キロの漂着木材を回収することができました。

プロジェクトに関わるメンバーは20~30代の若い世代を中心に構成。地域に関するきっかけを求めていたり、地域のために何かしたいという人たちに、「Yの字作戦」が地域とつながるための接点を作ることができました。しかしながら、自然環境の改善には、まだまだ多くの方の協力や環境意識の定着が必要であり、息の長い活動として地域に定着させる必要性を感じています。



深浜海岸清掃

クリーンアップでドラム缶



ゴミ拾いの様子

釣川クリーンアップ

団体名

NPO法人

改革プロジェクト

主な活動地域

福岡県宗像市

代表者

立花 祐平



活動実績

参加人数



のべ **164**人
うちTOTO
グループ参加 **57**人

活動回数

**7回**

集めたゴミの量

**1,065kg**

漂着木材の回収

**300kg**

Entry 16

よこしろ清流キャンペーン ～後世へ伝える環境と文化～

団体名

横代校区

まちづくり協議会

主な活動地域

福岡県北九州市

代表者

大塚 勝治



活動報告

横代校区では、稗田川をはじめ大小合わせて4本の川があります。子供たちに川に慣れ親しみ遊んでもらうことで、川の重要性・水環境の保全の必要性を理解し興味を持ってもらうことを一番の目的に取り組んできました。まずは遊ぶための環境づくりとして現状の川を清掃することから始めました。TOTO水環境基金の助成のおかげでゴム長靴をそろえることができ、川の中に入り川底のゴミを拾うことができました。子供たちと一緒に清掃活動に参加した大人も童心に帰り、子供たちとともに川がきれいになつて喜びを感じ、川への関心も高まって水環境の重要性を認識してもらいました。この高まった関心を維持し、次世代にきれいな川を残していくようにこれからもこの活動を続けていきたいと思います。



まち美化ゴミゼロキャンペーン

魚釣り王選手権



清流キャンペーン・壁画除幕式

カヌー体験教室

活動実績

参加人数



のべ **1,300**人
うちTOTO
グループ参加 **5**人

活動回数

**5回**

集めたゴミの量



**40リットル袋
1,500袋**

Entry 17

大新田海岸再生プロジェクト いのちあふれる

団体名

NPO法人

水辺に遊ぶ会

主な活動地域

大分県中津市

代表者

足利 由紀子



活動実績

参加人数



のべ **1,256人**
うちTOTO
グループ参加 **585人**

活動回数

**26回**

植樹

抵抗性松
20本

整備面積

松林
3,400m²

下草刈り

松林再生作業



ビーチクリーン

干潟観察会

Entry 18

冷川の清掃活動

団体名

冷川のホタルと親しむ会

主な活動地域

大分県別府市

代表者

高橋 東洋雄



活動報告

温泉湧水量全国一の温泉地にあって、温泉水の流れ込まない市内唯一の河川“冷川”。ここに棲む多くの生物、その中でも特にホタルの保護育成を行い、地域住民をはじめ、多くの人々にホタル鑑賞をしてもらうために、多くのボランティアの力を借りて自然環境の整備に取り組みました。

年間通して月2回、または3回の作業日を設定して実施。TOTOグループ社員・ご家族の方々をはじめ、立命館アジア太平洋大学の教授・学生等作業への参加者も昨年に比べて増え、また作業機器を新たに購入したことなどにより、作業能率も格段に向上し成果を上げてきたと思われます。

作業の内容として、冷川の草刈り作業、川のゴミの除去、ホタルのエサのカワニナの放流、カワニナのエサやりなどの作業を精力的に行ってきました。その結果、冷川の環境整備が進み、ホタルの出現数が年々増えてきました。



草刈り作業

草刈り・ゴミの除去



水路の清掃作業

カワニナの放流

活動実績

参加人数



のべ **450人**
うちTOTO
グループ参加 **60人**

活動回数

**28回**

集めたゴミの量



45リットル袋
210袋

Entry 19

氷川ダム湖かき殻まつりとホタルの郷づくり

第4回

団体名	次世代のためにがんばろ会
主な活動地域	熊本県八代市
代表者	松浦 ゆかり



活動実績

参加人数



のべ 1,000人
うちTOTO
グループ参加 3人

活動回数



58回

集めたゴミの量



50リットル袋
80袋

Entry 20

日本の次世代に伝える事業 ネパールの水衛生事情を

団体名	NPO法人 ウォーターエイドジャパン
主な活動地域	ネパール サンクワサバ郡
代表者	滝沢 智



環境学習会

氷川ダム親子デイキャンプ



かき殻まつり(水質浄化)活動

氷川ダム管理所で環境体験

活動報告

ネパール東部のサンクワサバ郡山奥の丘陵地帯は、ネパールの中でも水・トイレの普及率が最も低く、この地域の2村の人々が、安全な水とトイレを使えるようになること、衛生習慣を身に着けることを目指し、給水設備の設置、トイレや手洗いの重要性を伝える衛生教育を実施しました。また、ネパールを含む途上国の水・衛生の状況について日本の人々、特に子供たちに关心を持ってもらうために、ウォーターエイドオリジナル教材を使用した出前授業を担うボランティア「ウォーターエイド・スピーカー」の育成に取り組みました。スピーカー講習会を2度実施したほか、勉強会やファシリテーション練習会を実施、19名の「ウォーターエイド・スピーカー」が誕生。このスピーカーが実施する出前授業を通じて、100人を超える人々に、途上国の水・衛生について伝えることができました。

新しくできたタップスタンドで手を洗う人々
(ネパール)パイプを引くための溝を掘る村の人々
(ネパール)新しくできたタップスタンドを喜ぶ子供たち
(ネパール)講習会を受講して「ウォーターエイド・スピーカー」になった皆さま(日本・東京)
ネパールの写真: Water Aid/Mani Karmacharya

活動実績

参加人数

受益者数

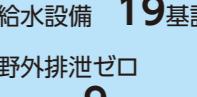
活動実績



のべ 1,30人
うちTOTO
グループ参加 4人



活動回数



給水設備 19基設置
野外排泄ゼロ
9コミュニティ
水・衛生委員会の立ち上げ
52グループ
衛生意識向上講習会
10コミュニティ

Entry 21

カンボジア農村地域の植樹活動及び環境教育

団体名

World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia

主な活動地域

カンボジア バッタンバン州

代表者

バナード・クリッシャー



カンボジア

活動報告

カンボジアの農村地域は水道が整備されておらず、井戸や雨水・ため池・川などを利用しています。当団体が建設し、公立学校として寄贈した小中学校で環境教育を行い、井戸の新規設置および使用できない井戸・トイレの修理、植樹、苗木づくり、環境教育、清掃等を行いました。水道が整備されていない農村地域では、井戸の水だけでなく、ため池を多く利用しており、今回活動を行った地域でも井戸が枯渇しているため、ため池や貯水タンクを利用している学校が多く存在していました。学校の希望を優先し、井戸やトイレの修理を予算内で対応、パイプ設置などは生徒も参加をして作業を行いました。環境教育は趣旨を訪問前に説明し、メール語で作成した資料を配布、担任教師より授業の一環で行うことで学校主体で行うように心がけました。乾季（2月から5月上旬）までの水不足は深刻で、雨期（7月から10月）の前に井戸トイレの修理や、苗木の配布を行い、衛生の向上、環境保護の意識付け、苗木の作成、木を植える活動を学校の行事として行いました。



小学校の井戸が修理され使用が可能

小学校でモリンガの苗木作成し、持ち帰り自宅で植樹



小学校で雨季前に苗木の配布

校庭の清掃作業

活動実績

参加人数

のべ 3,500人

受益者数

6,156人
活動回数 33回

活動実績

45リットル袋 60袋
・植樹:モリンガ、ロンガン、マンゴー、オレンジなど計5,095本
・井戸新規設置4校、井戸修理15校、トイレ修理5校、合計24か所、22校
・モリガの苗木作り3,000人
・環境教育:25校、3,200人

Entry 22

モザンビーク・クイサンガ地区3村への浄水器の配布と公衆衛生指導

団体名

モザンビークのいのちをつなぐ会

主な活動地域

モザンビーク カーボデルガド州

代表者

榎本 恵



モザンビーク

カーボデルガド州

活動報告

モザンビーク共和国・北部カーボデルガド州の村では、水や公衆衛生設備が未だ完備されておらず、村民は飲食・洗濯等全ての生活用水に安全性が確保されていない川水を用いており、下痢やコレラが慢性化しています。当会では、浄水器を500個を製作・4村に配布、公衆衛生トレーニングを行い、村人に安全な水を供給。公衆衛生意識の向上と実践を行うことで、疾病率・死亡率の低下を図りました。

浄水器導入前には、3村で30名がコレラにより死亡していましたが、2015年6月の浄水器導入後、コレラが発生しやすい雨期を経て、2016年4月時点での死者は出ていません。



タパラ村で浄水器の使い方講習をし、参加できなかった世帯に浄水器を配布

ンタニアテ村で川の水の簡易水質調査を村民と実施



インド製カートリッジとタンザニア製バケツで浄水器を製作・配布



トロロ村で浄水器の配布と使い方講習の他、石鹼づくりのワークショップ実施

活動実績

参加人数

のべ 240人

受益者数

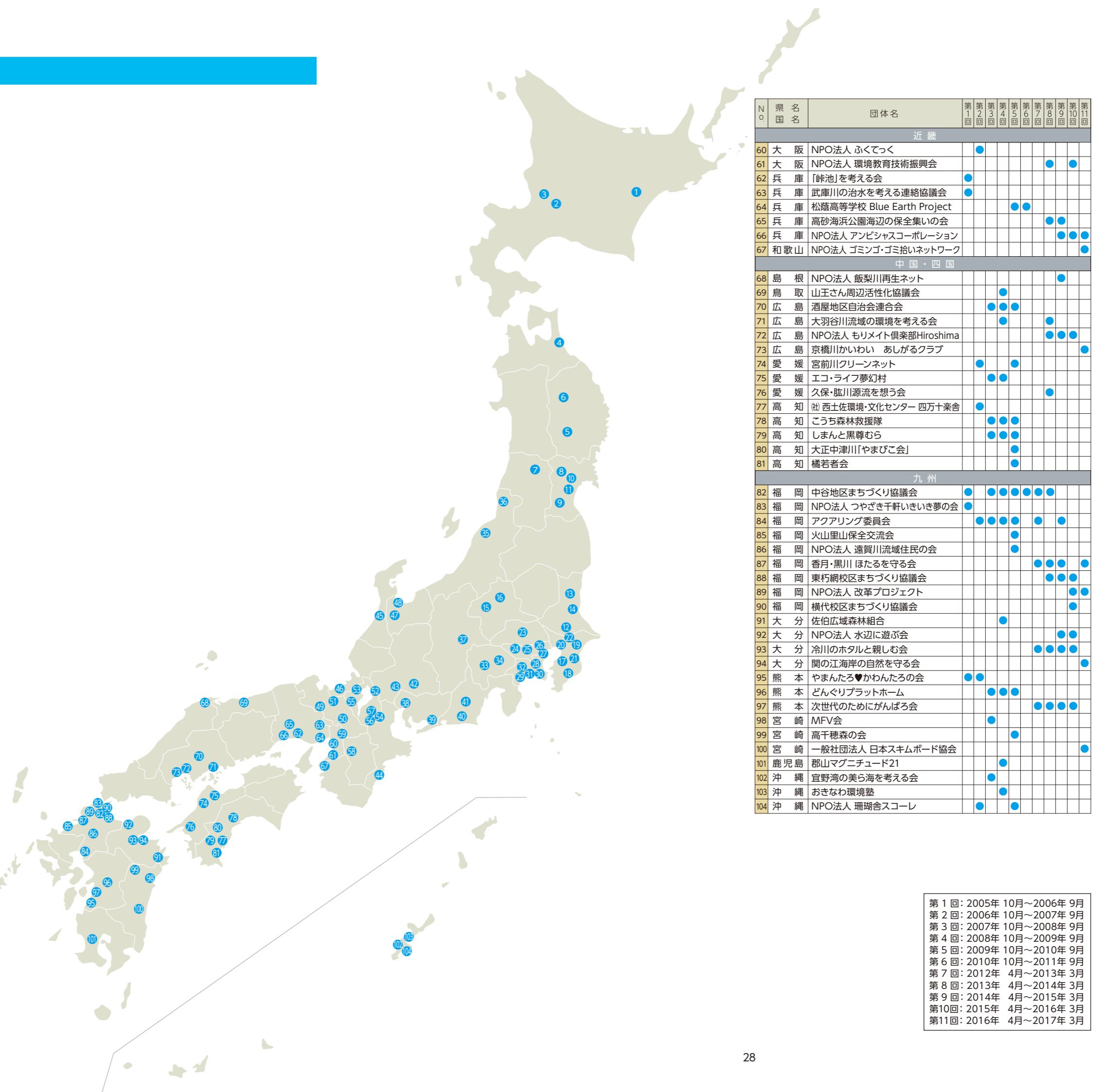
3,240人
活動回数 4回

活動実績

浄水器 4村に500個
公衆衛生トレーニング 4村 240人
コレラ死者 0名 ※2016年4月時点

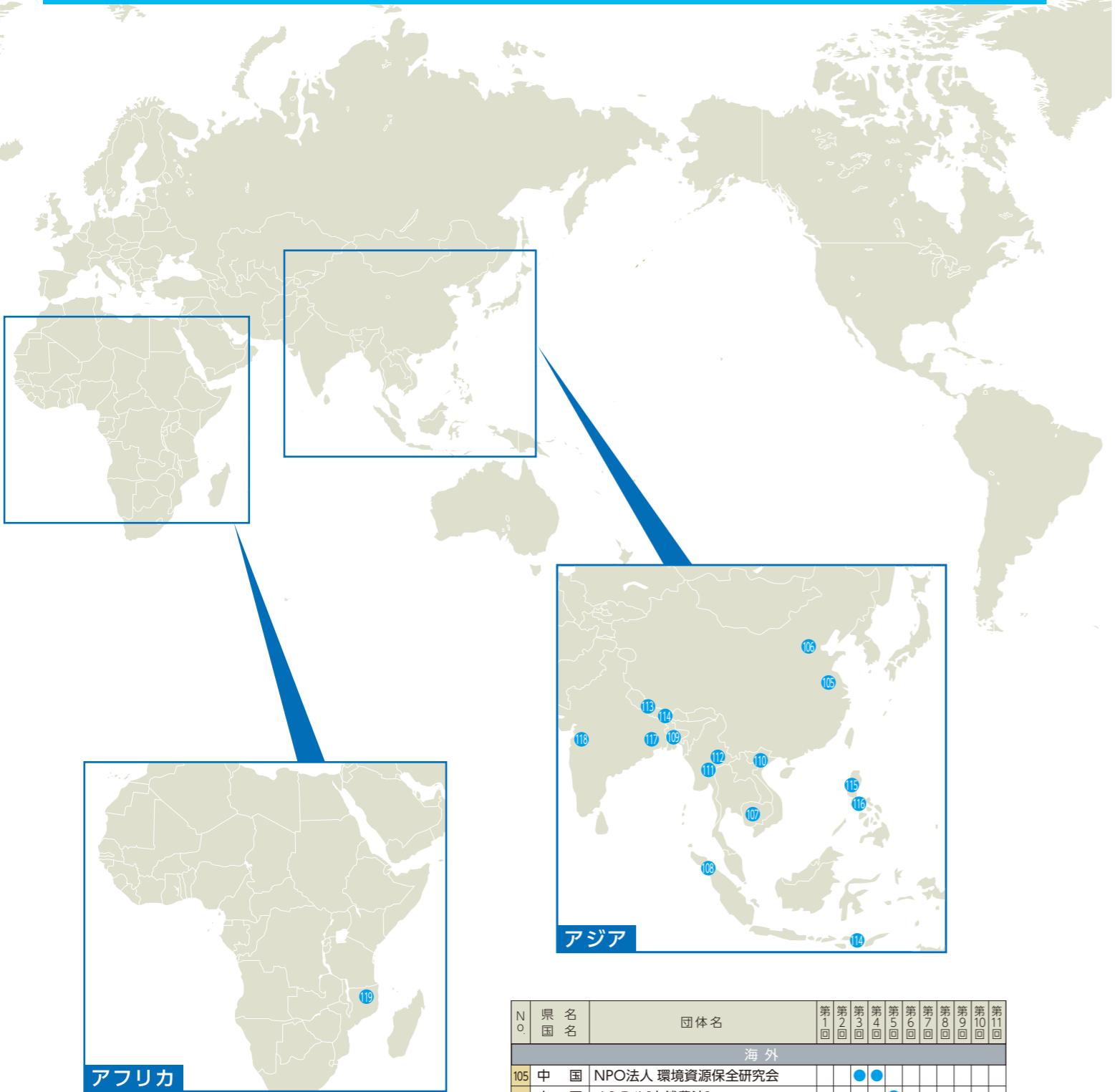
助成団体一覧(国内)

No.	県名	団体名	回数										
			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回
北海道・東北													
1	北海道	ぱんぱんぱんぱんぶきん	●	●	●								
2	北海道	NPO法人 山のない北村の輝き				●	●	●					
3	北海道	NPO法人 森をたてようネットワーク				●		●					
4	青森	小川原湖自然楽校			●								
5	岩手	NPO法人 わが流域環境ネット	●	●									
6	岩手	NPO法人 紫波みらい研究所(代表団体)			●								
7	山形	鮎川村自然保護委員会	●	●									
8	宮城	梅田川せせらぎ緑道を考える会	●	●	●								
9	宮城	NPO法人 川崎町の資源をいかす会			●								
10	宮城	NPO法人 杜の都仙台ナショナルトラスト				●							
11	宮城	カワラバン					●	●	●				
関東・甲信越													
12	茨城	NPO法人 WaterDoors				●							
13	茨城	御前山ダム環境センター					●						
14	茨城	NPO環~WA				●	●	●					
15	群馬	NPO法人 緑の家学校	●										
16	群馬	さなざわ里山だんだんの会				●							
17	千葉	NPO法人 ふるさと生きがいづくり	●	●	●								
18	千葉	NPO法人 印旛沼広域環境研究会	●										
19	千葉	NPO法人 印旛野菜いかだの会		●	●								
20	千葉	八千代市ほたるの里づくり実行委員会			●	●	●						
21	千葉	NPO法人 森のライフスタイル研究所			●	●	●						
22	千葉	NPO法人 しろい環境塾				●							
23	埼玉	NPO法人 比企自然学校			●	●							
24	東京	ぜんかんれん		●									
25	東京	白子川源流・水辺の会		●	●	●	●	●					
26	東京	DEXTE-K			●	●	●	●					
27	東京	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム				●							
28	神奈川	NPO法人 おさかなポストの会			●	●							
29	神奈川	浜っ子トラストチーム	●										
30	神奈川	ほのぼのビーチ茅ヶ崎		●	●	●							
31	神奈川	NPO法人 ヨコハマ倉造空間	●	●	●								
32	神奈川	NPO法人 海の森・山の森事務局					●						
33	山梨	NPO法人 えがおつなげ		●									
34	山梨	NPO法人 ゼロファクトリー			●								
35	新潟	NPO法人 ねっとわーく福島潟	●										
36	新潟	高根フロンティアクラブ		●	●	●	●	●					
37	長野	ステップアップゼミ		●	●								
東海・北陸													
38	愛知	ネイチャークラブ東海		●	●								
39	愛知	虹のとびら				●	●	●					
40	静岡	NPO法人 浜松NPOネットワークセンター	●										
41	静岡	NPO法人 はるの山の楽校				●							
42	岐阜	NPO法人 MY			●								
43	岐阜	大富山を愛する会				●	●	●					
44	三重	一般社団法人 海っ子の森			●	●	●	●					
45	石川	金沢エコライフ事業実行委員会	●										
46	福井	アマモサポートーズ		●	●	●							
47	富山	福光ふるさとの森を再生する会		●									
48	富山	金山里山の会				●	●	●					
近畿													
49	京都	水源の里連絡協議会		●	●	●							
50	京都	NPO法人 プロジェクト保津川		●	●	●		●					
51	京都	ほたる祭改善プロジェクト委員会			●								
52	滋賀	NPO旅するおさかなサポーター			●								
53	滋賀	NPO法人 夢工房		●									
54	滋賀	清水川湧遊会			●	●							
55	滋賀	たかしま有機農法研究会			●								
56	滋賀	神山区いい顔づくり委員会			●								
57	滋賀	NPO法人 家棟川流域観光船			●	●	●	●	●	●	●		
58	奈良	景観ボランティア明日香		●	●	●	●	●					
59	大阪	NPO法人 花だんごネットワーク		●	●	●							



第1回: 2005年10月～2006年9月
 第2回: 2006年10月～2007年9月
 第3回: 2007年10月～2008年9月
 第4回: 2008年10月～2009年9月
 第5回: 2009年10月～2010年9月
 第6回: 2010年10月～2011年9月
 第7回: 2012年4月～2013年3月
 第8回: 2013年4月～2014年3月
 第9回: 2014年4月～2015年3月
 第10回: 2015年4月～2016年3月
 第11回: 2016年4月～2017年3月

助成団体一覧(海外)



No.	県 国 名	団体名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回
海外													
105	中国	NPO法人 環境資源保全研究会		●	●								
106	中国	ひふみや[自然農法]				●							
107	カンボジア	World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia						●	●	●			
108	インドネシア	日本インドネシアNGOネットワーク	●										
109	ルワンダ	NPO法人 日本下水文化研究会	●	●	●								
110	ベトナム	社団法人 国際海洋科学技術協会	●	●	●	●							
111	ミャンマー	認定NPO法人 ブリッジ エーサ ジャパン	●	●	●	●							
112	ミャンマー	認定NPO法人 アジアチャイルドサポート							●				
113	ネパール	NPO法人 ミランクラブジャパン				●				●	●		
114	スバル・ 東ティモール	NPO法人 ウォーターエイドジャパン							●	●			
115	フィリピン	NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン					●						
116	フィリピン	NPO法人 イカオ・アコ						●					
117	インド	認定NPO法人 日本水フォーラム							●				
118	インド	DEEPAK FOUNDATION								●	●		
119	モザンビーク	モザンビークのいのちをつなぐ会							●	●	●		

Global Environmental Vision

グローバル環境ビジョン

水と地球の、あしたのために。

創業以来、水の大切さを心に刻んできたTOTOグループ。

私たちはあらためて、資源としての「水」を見つめ直しています。

「水資源の枯渇」や「地球温暖化」が深刻さを増すいま、果たすべき責任とは、何か。

それは、ただひとつ。水まわりからの環境貢献に全力をそそぐことです。

蛇口をひねる。シャワーをあびる。繰り返されるまいにちの中で

誰でも節水、CO₂削減ができる、優れた環境性能の商品を世界にお届けする。

グローバル環境目標に「水資源の保全」を追加し、一日も早い実現を目指していく。

地域、地域に寄り添った活動の先に、地球のよりよい「あした」が待っていることを願い

TOTOグループ一丸となって取り組んでまいります。

グローバルで取り組む 6つのテーマ



資源を大切に

工場・事業所での
再資源化の推進など、廃棄物削減に
取り組みます。

地球を汚さない

水質保全や空気淨化などに取り組み、
安心・安全な社会を目指します。

生物多様性を守る

生物多様性に配慮した
原材料調達の推進や生態系保全などに
努めます。

地域社会のために

社員がステークホルダーと共にグリーンボランティア活動を行い、各國、各地域に根ざした
環境貢献を目指します。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO